

「記録的な〇〇」「観測史上最も〇〇」「異常気象」等という言葉が世間を賑わせています。昨日も、今年は観測史上最も早い梅雨開け「6月27日」としたのが、「7月23日ごろ」と大幅に修正されました。このことから地震や豪雨等自然による災害は予測困難だと改めて感じました。

防災に対する考え方が大きく変わったのは、2011年3月11日、「東日本大震災」であったことは間違いありません。「釜石の奇跡」を憶えていますか。大津波が東北地方の沿岸部に甚大な被害を及ぼしたなか、岩手県釜石市内の児童・生徒の多くが無事だったとう出来事です。これは、震災以前から行われていた防災教育「津波避難の三原則」の通りに児童生徒が行動したからと言われています。学びが自分たちの命、それだけでなく周囲の人々の命も救ったということです。

この3原則はすべての災害に通じるものであるので、この機会に皆さんにぜひ記憶に残してほしいと思います。

- ① 想定にとらわれるな
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者たれ

この機会にこのこの3原則や「東日本大震災での出来事」や自然災害を振り返り、この悲しくも貴重な日本人の経験を風化させないようにしっかりと学んでほしいと思います。